



夢に生かさん

Takeokadai High School

1・2年生用

進路指導部 第9号

発行日 令和 2. 3. 25 (水)

31 期生入試結果速報

2020 年度入試がほぼ終了しました。センター試験においては、全体では、900 点集計で、文系(5教科8科目)が前年より 21 点、理系(5教科7科目)が 18 点(データネット集計) ,それぞれ減少しています。教科・科目別の平均点は、「数学Ⅰ・A」(-7.8),「数学Ⅱ・B」(-4.18),「英語(筆記)」(-6.99)などで昨年より大きな下降がみられ、また、「化学基礎」(-3.02),「生物」(-5.33),「英語(リスニング)」(-2.64)など、ほかの多くの教科・科目でも平均点の下降がみられました。全国的な難化の波の中で、高得点を取った生徒が少なかったのですが、平均点を見ると本校生は健闘したのではないかといえます。

センター試験では個々の目標点数に届かず、自己採点後の判定で厳しい結果となった生徒も、個別学力試験(2次試験)に向けて、自分の目標を新たに定め、最後まで頑張ってくれました。前期日程試験(2月25・26日)では145名が、全国各地の大学に果敢に挑戦しました。今年も卒業式翌日以降も登校し、小論文や面接の指導を熱心に受けていて、中・後期日程試験(3月8・12日)では44名(出願者から前期合格・入学手続き終了者等を除く)がチャレンジしました。最後の最後まで粘り強く頑張ったことは、今後の人生の自信につながるはず。ただし、例年同様「センター試験であと30点取ってれば…」という層が厚く、もう一歩のところまで涙を呑んだ生徒もかなりいました。そのほとんどの人たちが、1,2年生の頃の取り組みの甘さを反省材料の筆頭に挙げています。

さて、1,2年生の皆さん、来年・再来年の自分を想像してみてください。現在の生活習慣や学習習慣で合格を勝ち取る自信がありますか?受験は日々の勉強の延長線上にあり、合格への挑戦はもうすでに始まっているのです。ここ1ヶ月は、新型コロナウイルスの影響で授業ができない状態でした。全国のライバルたちは前に進んでいます。裏面の体験記なども参考にして、今できること、今からやるべきことをきちんと認識・整理して、新しい学年への準備をしましょう。

【31 期生 合格状況一覧】(3月22日現在 国公立大学のみ)

大学	推・AO	前	中後	合計
筑波大		1		1
滋賀大	1			1
岡山大	1			1
山口大	2			2
高知大		1		1
大分大	1			1
九州工業大	1			1
佐賀大	1			1
長崎大		1		1
宮崎大	1	3		4
鹿児島大	18	31	3	52
琉球大		4	1	5
合計	26	41	4	71

大学	推・AO	前	中・後	合計
千葉保健医療大		1		1
高崎経済大		1		1
都留文科大	1			1
兵庫県立大	1			1
鳥取環境大		1		1
尾道市立大		1		1
山口県立大	1		1	2
山口東京理科		1		1
下関市立大	1	1		2
福岡県立大	1			1
北九州市立大	2	1		3
長崎県立大	3	3		6
熊本県立大		4	2	6
宮崎県立看護大		3		3
宮崎公立大		2		2
名桜大		1		1
合計	10	20	3	33

	推・AO	一般	計	
国公立大	36	68	104	昨年 96
公立短期大	5	42	47	昨年 39
医療センター付属看護	1	6	7	昨年 9

*その他難関私立大学にも多数合格しています

3年生の合格体験記

31期生が合格体験記を書いてくれました。3つ紹介します。参考にしてください。

〈推薦入試を終えて〉一部抜粋

鹿児島大学教育学部 学校教育教員養成課程 中等教育コース 国語 推薦Ⅱ合格(普通科文系)

私は、鹿児島大学教育学部中等教育コース国語科に推薦Ⅱで合格しました。私が受験した推薦Ⅱでは、センター試験900点・面接400点・調査書200点の合計1500点の配点でした。

私は**センター本番、勝負科目である国語で頭が真っ白**になってしまいました。そのため、国語は20点以上いつもの模試より落としてしまい、家で泣きました。その時は諦めかけていましたが、この涙をきっかけに立ち直ることができました。そして、**自分の意志を貫きました**。それから面接練習と二次試験の勉強の両立という難しさに苦労しながらも**諦めることなくやり遂げる**ことができました。泣きたいときには、泣いてください。しかし、そこで諦めずに次へ進む糧としてください。

受験は個人戦でも団体戦でもあります。**クラスの雰囲気**もよく、集中して勉強に取り組むことができ、また、志望が同じ**友人と切磋琢磨**し、自分自身の実力をかなり伸ばすことができました。

最後に、この一年間はかなりつらく、苦しいです。もし、心が折れそうになったら支えてくれる人たちのことを思い出してください。私は何度も心が折れそうになりましたが、応援して下さる多くの方々のことを思い出すことで、最後まで前向きに頑張ることができました。

〈3年生の1年間〉一部抜粋

鹿児島大学理学部 理学科 数理情報プログラム 前期日程合格(普通科理系)

3年生になってすぐは、受験生である自覚はありませんでした。部活を引退し、放活に参加していくとだんだんその自覚が芽生えてきました。夏休み、私は勉強方法を大きく間違いました。私は、化学を重点科目にして、化学の全範囲をまんべんなく通っていました。しかし、ある先生から「**苦手な分野に絞ってやりなさい**」とアドバイスをいただき、どの教科も苦手分野に絞って勉強するようにしました。

2学期になるとみんなの勉強への意識がどんどん変わってきました。そういう**雰囲気**に自分も飲み込まれ、放活や自習のとき、集中して取り組みました。やはり**周囲の環境は大切**だと実感しました。この時期、**模試や演習で間違ったところや要点をまとめるノート**を作って勉強するようにしました。わからないところは友達や先生に聞いて理解を深めました。わからなかったところを理解して、解けなかった問題が解けるようになり、その達成感がモチベーションを上げました。

いよいよセンター試験。数学の前の緊張は凄く、始まってからも焦っていましたが、**できる問題からやろう**と解いていったら、緊張もほぐれて問題に集中できるようになりました。個別試験では、予想していたものは全く異なる問題が出ました。問題を見て、本当に泣きそうになりました。しかし、**これだけやってきたという自信**があり、それが解答用紙を埋める推進力になりました。センター試験にしても個別試験にしてもうまくいきませんでした。が、**全力を出し切った**ので後悔はありませんでした。

自分はこれだけやったんだという自信が力へと変わります。その力が合格へと導いてくれます。皆さんも最後まであきらめずに全力を尽くしてください。応援しています。

〈受験を振り返って〉一部抜粋

鹿児島大学工学部 先進工学科 海洋土木プログラム 前期入試合格(情報科理系)

1, 2年生の頃、全くと言っていいほど勉強していなかった私は、他の人からは簡単だと思われるような参考書から勉強を始め、それでも最初の頃は、4割ほどしか点数がとれませんでした。**自己分析**をし、理科を中心に英単語を覚えるような勉強をしました。家ではあまり勉強をしないので、市立図書館で勉強をしました。**あまり詰め込みすぎないこと**を意識して勉強を行ったので、最後まで嫌になることなく勉強でき、体力も最後までもってくれました。しかし、**勉強は圧倒的に量の勝負**であるとも感じました。進学を目指すのであれば、やはりもっと勉強するべきだと思います。

私は、英語が苦手でした。3年生からの受験勉強で、なんとかなると思っていましたが、中々上がりませんでした。**1, 2年次の積み重ねが大切**だと思います。3年生になると、月に1回ほど**マーク模試**がありますが、点数で一喜一憂する必要はありません。**復習**をしっかりと行って**同じ間違いをしないこと**が大切だと思います。また、鹿児島大学は二次試験の比率も高いので、多少センター試験がうまくいなくても、それまでに**しっかりと勉強して得意科目を作っておけば、二次試験で勝負できるもの**だと思います。後輩の皆さんも頑張ってください。